

庚申 万延元年蝦夷地刀勝御領分御引請留

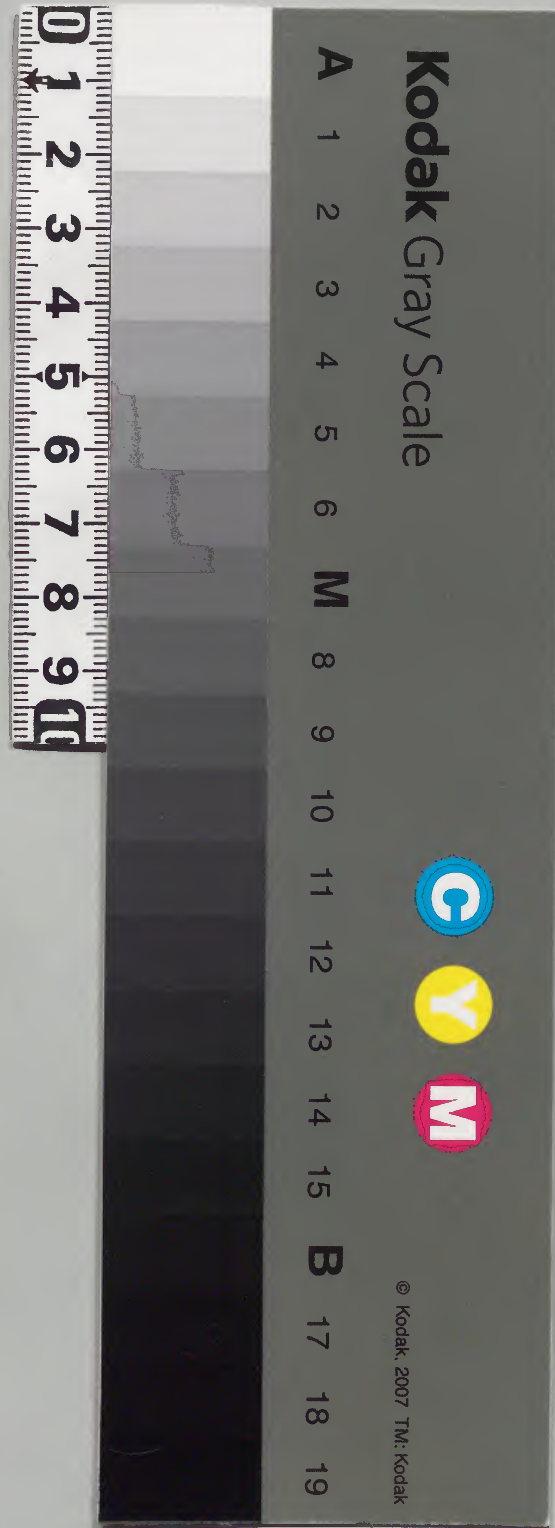
和書門  
三六五八五  
一三三  
七三

和書門	三六五八五	一三三	七三
類	函	架	冊

和書	三六五八五	一三三	七三
類	冊	架	函

內閣文庫	
番號	和 36585
冊數	7 ( 6 )
函號	178 289

共七







庚子年  
申子  
延元  
年  
推  
事  
也  
方  
據  
所  
領  
分  
所  
引  
諸  
留

子  
務  
道







引添目錄

一制札場ヶ所書

吉冊

一會所藏、番家其外ヶ所書

吉冊

但繪圖西添

一會所系鑑

吉冊

一得去人名前在家人別書

吉冊

一場所境里数書

吉冊

一河為并北蝦夷地ハクシマ小皮紙シヤ入シ書シ吉冊

一シムシヤシ市シ中シ去シ人シ書シ吉冊

一法シ去シ人シ書シ吉冊

一吏能人通詞番人シ稱方名シ書シ吉冊

一出稱人名前書

吉冊

一急シ江シ進シ早シ馬シ番人シ去シ人シ名シ書シ吉冊

吉冊

内 漢 書



一產物去、今より翌上迄取書

吉冊

一船、多取書

吉冊

一去未年產物移出取書

吉冊

一水舟、馬多取書

吉冊

一川、渡守給代書

吉冊

右之通、河渡、以上

吉冊

一會、三月

吉冊

一會、三月

吉冊

一會、三月

吉冊

一會、三月

吉冊

制札場个所

内

一制札場三个所

會所元

吉ヶ所

トウ、フイ

吉ヶ所

ヲ、ホツ、ナイ

吉ヶ所

右之通、有之以上

申

閏三月



一 會所藏：番家其外个所書

覺

一 卜力子會所

深間七間半  
桁行三程或間

棟 但及及松茸

生棟及沙有足  
但及及是金付

一 旅宿所

深間四間  
桁行五間

棟 但亦田新

生棟及松茸  
但亦田新

一 板藏

深間四間  
桁行六間

或棟 但亦田新

生棟及松茸  
但亦田新

一 板藏

深間三間  
桁行三間

或棟 但亦田新

生棟及松茸  
但亦田新

一 深間三間  
 一 深間四間  
 一 深間五間  
 一 深間六間  
 一 深間七間  
 一 深間八間  
 一 深間九間  
 一 深間十間  
 一 深間十一間  
 一 深間十二間  
 一 深間十三間  
 一 深間十四間  
 一 深間十五間  
 一 深間十六間  
 一 深間十七間  
 一 深間十八間  
 一 深間十九間  
 一 深間二十間



一回

梁間五間  
杉行控間

三棟 但多日所  
先作五柱坪

一回

梁間三間  
杉行四間

三棟 但前日所  
先作三柱坪

一回

梁間三間  
杉行五間

三棟 但前日所  
先作五柱坪

一回

梁間四間  
杉行四間

三棟 但前日所  
先作四柱坪

一漁小家

三棟 但前日所

一對

梁間四間  
杉行控間

三棟 但前日所

一鍛冶小家

梁間四間  
杉行三間

三棟 但前日所  
先作六柱坪

一細工小家

梁間三間  
杉行控間

三棟 但前日所  
先作五柱坪

一雇古人家

梁間三間  
杉行控間

三棟 但前日所

一木挽巾家

梁間三間  
杉行八間

但前日所



一 船園巾家

梁間 三百  
柳杉 拾五

但前白紙

一 觀音堂

梁間 三間  
柳杉 拾五

三 棟 但瓦招松葺

生障 拾五 梁 五出 生障 三棟

一 船倉社

梁間 四間  
柳杉 拾五

三 棟 但前白紙

生障 拾五 梁 五出 生障 三棟

一 下ウフイ番家

梁間 六下半  
柳杉 拾五

三 棟 但前白紙

生障 拾五 梁 五出 生障 三棟

一 板藏

三 棟 但前白紙

一 人豆土人小家

梁間 三百  
柳杉 拾六

三 棟 但瓦招松葺

生障 拾五 梁 五出 生障 三棟

一 フホツ十番家

梁間 五百  
柳杉 拾五

三 棟 但瓦招松葺

生障 拾五 梁 五出 生障 三棟

一 板藏

梁間 三百  
柳杉 拾六

三 棟 但前白紙

生障 拾五 梁 五出 生障 三棟

一 人豆土人小家

梁間 三百  
柳杉 拾八

三 棟 但瓦招松葺

生障 拾五 梁 五出 生障 三棟



一 松荷社

梁向 三間  
杉行 三間

壹棟 但瓦松草葺

生障 表三坪

一 辰巳向  
一 フナウヘツ 漁小家

梁向 或アノ半  
杉行 四ノ半

壹棟 但瓦白引

生障 表五坪

一 昆布蔵

梁向 三間  
杉行 三間

壹棟 但瓦草葺 芝園

一 柳向  
一 フシラヘツ 漁小家

梁向 或アノ半  
杉行 六間

壹棟 但瓦松草葺

生障 表拾五坪

一 フシラヘツ  
一 板蔵

壹棟 但瓦白引

一 梁向 或アノ半  
杉行 四ノ半

生障 表九坪

一 昆布蔵

梁向 三間  
杉行 七間

壹棟 但瓦松草葺 芝園

一 丑向  
一 ルシヘツ 漁小家

梁向 三間  
杉行 八間

壹棟 但瓦松草葺

生障 表拾四坪

一 ルシヘツ  
一 板蔵

梁向 或アノ半  
杉行 三間

壹棟 但瓦白引

生障 表七坪

一 フシラヘツ 昼所

梁向 或アノ半  
杉行 十一間

壹棟 但瓦白引

生障 表拾五坪



一ニウト屋所

梁間計間  
杉行十間

寺棟 但右口所

寺棟表杉行

一ヲコソヘ屋所

梁間計間  
杉行拾五

寺棟 但右口所

寺棟表杉行

一ア井ホシム屋所

梁間計間  
杉行六間

寺棟 但右口所

寺棟表杉行

一ヒホロ小休所

梁間計間  
杉行七間

寺棟 但右口所

寺棟表杉行

一ラツコ小休所

寺棟 但右口所

梁間計間  
杉行六間

寺棟表杉行

一アエホシム小休所

梁間計間  
杉行拾五

寺棟 但右口所

一ヲニ子ナイ小休所

梁間計間  
杉行拾五

但右口所

一チヨウホシム小休所

梁間計間  
杉行拾五

但右口所

一元トカ子小休所

但右口所



一 氏中... 柳杉六天

右之通... 以上

閏三月

Vertical columns of faint handwritten text on the right page.

覺

戶鏝

戶勝 會所

會所

右之通... 以上

申

閏三月

Vertical text on the left edge of the left page.







覺

演也名  
 ハ 丑 へ ク  
 山也名  
 イ キ リ カ ン  
 越也使  
 イ タ キ ア ン  
 脇也名  
 ラ ト ワ  
 並也名  
 シ テ ム リ ツ  
 ア ラ ヨ ク

總目及人各把其家及人及所集



日

アムロ

日

サシカラツ

日

ウバエ

日

マウコアイノ

日

ア

日

サンチロ

日

マカ又カル

日

イナキ

日

ミコライ

日

ニサフ

日

イ

日

ニサフ

日

イ

境町地目表

日

ハシリコ

ウカレサン

日

イコモク

日

タハ井

日

カシユクフテ

本二面五ヶ所ノ拾七人

一 惣家表五ヶ所ノ拾七人  
人別表五ヶ所ノ拾七人







ヘルフ子 吉里

アイホシムム 日

セツキ 日

トウフイ 日

ラシ子ナイ 日

カ、イ月 日

ユウト 日

チウラフシト 日

チヨウホシ 日

トシケシ 日

ヲホツナイ 日

トイトコ 日

クマ子 日

右之通者之移以上

申

閏三月

チカフヤニ 日

ヲニヲフ 日

アフナイ 日

ヲトシヘ 日

チコクヘツ 日







右三通 在之特以上

一曰申

一曰 申 三月

一曰 大 申

一曰 小 申

一曰 申

一曰 大 申

一曰 申

一曰 申

一曰 申

右入之申上申申申

申申申申申申申申申申

ヲムシヤニ市ノ外年去人下

差違此品書

覺

一清酒五合

右々奉行是浦之旨為有差之形

但山住居又々自分移申之廻浦ニ携ノ事

考下之有差之事

一清酒五合

右々廻浦廻浦之旨為有差之形

但お同形

一木部己入之殺

右々毎年為有差之形

右入人下

右入人下

七年奉納之入







右之ヲムニヤノ旨為可考候

右之通有三形以上

申 閏三月

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

諸品及人其下賣海出及書

覺

- 一 香米 齊三吉升 代錢 五拾六文
- 一 清酒 日 四可文
- 一 濁酒 日 六拾文
- 一 煙子 吉把子 九拾文
- 一 草鞋 吉足子 拾五文
- 一 間切大中小 吉把子 三拾文
- 一 田代大 吉把子 三拾文
- 一 田代中 吉把子 三拾文
- 一 田代小 吉把子 三拾文
- 一 繩針 吉把子 四拾文
- 一 繩糸 吉把子 四拾文
- 一 漆木 吉把子 四拾文

略



支那人通詞番人名前書

覺

支那人

忠五郎

通詞

岩五郎

懐妊

春代松

番人

寛吉

口人

石五郎

一 水代浪鍾

吉本手

口

水打文

一 草針

吉本手

口

杉六文

一 方子上中下

吉本手

口

三ノ増文

一 股列

吉本手

口

水打文

一 鍋

吉本手

口

百五文

一 鋪

吉本手

口

百五文

一 南形総

吉本手

口

百五文

一 漆扣紅

吉本手

口

百五文

一 右通有三條以上

吉本手

口

百五文

申

閏三月

支那人通詞番人名前書



番人 勇物

金三印

紋藏

画師山三郎

日人妻 三

番人 三

日人妻 三

番人 三

日人妻 三

番人 三

日人妻 三

番人 三

日人妻 三

番人 三

日人妻 三

番人 三

日人妻 三

番人 三

日人妻 三

番人 三

日人妻 三

番人 三

日人妻 三

番人 三

日人妻 三

番人 三

日人妻 三

番人 三

日人妻 三

番人 三



番人

口 葛

吉

口

金太郎

口

金花

口

由

口

豊多郎

口

吉

口

豊多郎

口

菊

口

孫

口

又

口

八

口

想

口

半

口

紅

紅



日 孫 志

日 龜 治

日 又 三 郎

日 金 治 郎

日 熊 子 郎

日 若 助

日 末 治 郎

日 豐 治 郎

日 平 吉

日 吉 吉 勝

日 長 友 事

日 松 治 郎

日 元 吉

日 松 五 郎

日 末 治 郎



氏三郎入右方書

日一

右三郎入右方書

日

豊治

日

平吉

日

佐吉

日

栄作

日

平五郎

日

丑吉郎

日

金藏

内務省

日

源吉

日

若吉

日

并三郎

日

市三郎

日

愛吉郎

日

若五郎

日

志吉郎



右三通有之抄以上

申  
閏三月

日 和 左  
日 作 助  
日 人妻 平正平  
日 番人 景 也  
日 又三郎  
日 金方郎  
日 豊 次

出稼人名前書

覺

右三通有之抄以上

申  
閏三月

日 筑館三ッ谷村  
日 強み美 右内  
日 有川村 方 吉  
日 有川村 長 七  
日 有川村 菊 彦

内務省



右ノ通三郎ノ...

...

...

...

...

...

...

急進早馬早走之者名前書

覺

早馬衆番人

元吉

日土人

シトケン

早走番人

三太郎

日土人

イタキトム

右ノ通三郎在之妙以上

申...











陸三民

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

去末年産物積出高書

...

...



覺

一昆布八千八百七拾駄

一丹生自六万三千七拾七貫目

注石千五百七拾五石四斗或外五合

右園昆布六百七拾駄

一高野 注月四子三百七拾三貫百石有

注石百八石五斗七升八合

内

一新昆布八千七百七拾駄

一丹生 注月五万八千六百七拾三貫八百石有

一磯 注石千四百七拾六石八斗四升七合

一布海苔三拾俵

注石千五百七拾五石四斗或外五合

丹生

丹生



一 青八百貫目

注石印推石

一 鯛ノ粕九推五俵

注目印千石百貫目

一 雜ノ粕五推五俵

注目或子二百九推貫目

注石七推或石或斗或升八合

一 鹿皮七百枚

注月三百推五貫目

注石七石八斗七升五合

一 秋味鮭壹万八千四百六推半

一 注東九石四推三乘

注石三百七石六斗六升六合

合石敷或子四推三石或斗七升六合 未船積高

お

石敷或子七石五合

ホロイツミハシヨヤ濱ラコ  
ミアアラコマニテ所ニ出  
積漁高五分

右之通 有之推以上

申

閏三月



一物馬...  
 二物馬...  
 三物馬...  
 四物馬...  
 五物馬...  
 六物馬...  
 七物馬...  
 八物馬...  
 九物馬...  
 十物馬...

小馬駝馬負數書

一物馬...  
 內

八物馬...  
 七物馬...  
 六物馬...  
 五物馬...  
 四物馬...  
 三物馬...  
 二物馬...  
 一物馬...

内  
 務  
 省



六兩牝 拾五足

五兩牝 拾八足

四兩牝 拾五足

三兩牝 拾五足

即兩牝 拾八足

右之通 在三以上

申

閏三月 廿四 文

八兩牝 拾五足

丙

一錢壹貫五百文

覺

川海守土人給代書

川海守土人給代書

覺

壬子月

一錢壹貫五百文

川海守土人給代

右之通 有三以上

申

閏三月



六千九百九十九  
 五千九百九十九  
 四千九百九十九  
 三千九百九十九  
 二千九百九十九  
 一千九百九十九  
 九百九十九  
 八百九十九  
 七百九十九  
 六百九十九  
 五百九十九  
 四百九十九  
 三百九十九  
 二百九十九  
 一百九十九  
 九十九  
 八十九  
 七十九  
 六十九  
 五十九  
 四十九  
 三十九  
 二十九  
 十九  
 九

一

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、  
 十一、  
 十二、  
 十三、  
 十四、  
 十五、  
 十六、  
 十七、  
 十八、  
 十九、  
 二十、  
 二十一、  
 二十二、  
 二十三、  
 二十四、  
 二十五、  
 二十六、  
 二十七、  
 二十八、  
 二十九、  
 三十、  
 三十一、  
 三十二、  
 三十三、  
 三十四、  
 三十五、  
 三十六、  
 三十七、  
 三十八、  
 三十九、  
 四十、  
 四十一、  
 四十二、  
 四十三、  
 四十四、  
 四十五、  
 四十六、  
 四十七、  
 四十八、  
 四十九、  
 五十、  
 五十一、  
 五十二、  
 五十三、  
 五十四、  
 五十五、  
 五十六、  
 五十七、  
 五十八、  
 五十九、  
 六十、  
 六十一、  
 六十二、  
 六十三、  
 六十四、  
 六十五、  
 六十六、  
 六十七、  
 六十八、  
 六十九、  
 七十、  
 七十一、  
 七十二、  
 七十三、  
 七十四、  
 七十五、  
 七十六、  
 七十七、  
 七十八、  
 七十九、  
 八十、  
 八十一、  
 八十二、  
 八十三、  
 八十四、  
 八十五、  
 八十六、  
 八十七、  
 八十八、  
 八十九、  
 九十、  
 九十一、  
 九十二、  
 九十三、  
 九十四、  
 九十五、  
 九十六、  
 九十七、  
 九十八、  
 九十九、  
 一百

一

ト力千分ホロイツ三場所ト出稼并人馬  
継立方ホ有苗領持人持所文写







る付居る山美ニヨク下は凡 半中おロイツミ分る入用  
高を何れ越え心付るお積シヨウヤ濱家物を前より  
通おロイツミ船美人を船且サレニ番尾をトカチ  
る河より入札高の内金而お積る内方り 何れ上双  
此法内隔あり日十一年九月月中隔口津文ヨク山  
ふとく其下は多の心共 去年一季に法法を仕る凡お書  
隔より越え心付る前何れお積る内方り 去年地以共  
田指お積る内方り 去年トカチ 杉平 陸奥守 松原  
分派り 何れお積る内方り 去年トカチ 杉平 陸奥守 松原  
界も亦より美身を越え通 不斗方 杉科 杉科 杉科  
細申の何れお積る内方り 去年トカチ 杉平 陸奥守 松原  
多物お積る内方り 去年トカチ 杉平 陸奥守 松原  
日通例より越え心付る内方り 去年トカチ 杉平 陸奥守 松原

は用所改法積出ツ美トあるサレ、あるを是くと  
之通トカチト川更通切は宿入用共サレ、分おロイ  
ツミと何れお積る内方り 去年トカチ 杉平 陸奥守 松原  
分派り 何れお積る内方り 去年トカチ 杉平 陸奥守 松原  
界も亦より美身を越え通 不斗方 杉科 杉科 杉科  
細申の何れお積る内方り 去年トカチ 杉平 陸奥守 松原  
多物お積る内方り 去年トカチ 杉平 陸奥守 松原  
日通例より越え心付る内方り 去年トカチ 杉平 陸奥守 松原

杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦

あ改七甲年 三月廿日

杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦

杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦 杉浦



所奉行所

お書は 伝承少 執事 為山寺 由安 氏 依之 矣  
さき 心中 以上

西村 伊多 志原

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

下力午場所

諸書物引渡目録

一 地所引渡目録

主冊

一 下力午場所

支冊

一 諸書物引渡目録

支冊

右之通引渡以上

八月

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*



3

卜力午場所  
諸書物引添目錄

卜力午

一地所引添目錄

壹冊

一日境界繪圖

壹枚

一區演說書

壹冊

右三通引添以上

申

八月

河津三右太郎

鈴木尚方

須藤甚之助

丹 務 省

内奉行所  
為書引添  
書物引添目錄  
...











モンヘツ領境

一トカチクスリ境を海岸チヨクヘツ川中央中境支ヨリ  
川上ニあり河川モシムラマチヨクヘツ川二股より北ニ  
ありイナウシ山見通シ支ヨリ山裾通ルイナウシ川  
ニ至リ河川通リイナウシ川よりトフ川モンヘツ川境を  
川筋中央トカチクスリ領境

但チヨクヘツ川海岸ニ何方ニ潮替リ奉ルルク  
一スリニ方ニ境杭トカチクスリ方ニ山岸を以地方境  
ニ有極モ川漁ニ双方入會ニ積

右ニ通地所別紙境界繪圖面ニ通リ流ル

申

八月  
河津三右太郎  
鈴木尚方郎  
原藤甚助

進演説書



述演説書

一米百九拾五石或斗八升五合或夕

下力子 市備米

西紀市 以備米之儀子モ口外協所之口招之在  
法之有元浩之儀川海り骨 由乃石代 虫其虫其  
昔米館表おわく上知マ多流 其虫其令演説以  
上

申

河津三内太郎

八月

鈴木尚方市

須藤甚之助







中演泥書

一先般於糸館引居り家其外建家个所書  
 一内トカチ會所前演渙小家梁間四間柳行  
 一拾四間棟高毒中燒失以事一  
 一トカチ領内寺院等舟馬人土人ホ死亡所若  
 一之埋葬所佛事之儀を都一アツケニ國奉寺  
 一之是成内向を外仕来ハ  
 一ホ口イツミトカチお領同請原場所之儀舟出為  
 一物積合之儀差免百々トカチ之積入五高ル何之  
 一積合之船中見お糸館沖之口之新在込込  
 一お屋まのホロイツミト船日所之為物積入日積之  
 一斗出帆中在在ホロイツミ之積入トカチホロイツミ積合  
 一之皆七日積入事

舟 終 首

舟 終 首

舟 終 首



一トカ午場所之依鱈魚之此煙霧之廿市、在舟前之境  
 鱈之製し秋味魚業の足し年を積令出航之依場所に渡合  
 役とト務事と舟子とを乗船し舟中より積石を舟中へ秋  
 味は船陸通茶館沖より口出島而下向る之に事ふ  
 一トヨクベツ川海守之依クスリトカ午ありが隔年と事出れ  
 一仕本らあり申一トカ午より方年ありき事  
 一和俗を改め土人ト為るあり依アツケシ場所の船舟より  
 付別ありし依り  
 一此を演説し舟中より通しある事  
 方ホリ向り依てシヤニニ話初めて事今  
 右し通令演説  
 一ト申

八月出帆河津

河津ニ寄る外  
 鈴木あり  
 須藤甚之助







序請書

十力午

一地所行海目錄

五冊

一回境界繪圖

三枚

一述以演說書

或冊

右之通在成以門海在信而修以上

申

八月

松平陸奥守家来

鹿又溪作

富 豊治



一  
二  
三

宣  
皇  
宗

東  
又  
野  
村

新  
東  
野  
村

中

右  
三  
冊  
を  
開  
き  
て  
見  
る  
に  
右  
の  
如  
き  
に  
書  
き  
出  
す

一  
出  
力  
の  
強  
弱

右  
冊

一  
日  
の  
界  
限

左  
冊

一  
世  
代  
の  
日  
記

手  
冊

右  
の  
如  
き

右  
の  
如  
き

一  
冊  
に  
書  
き  
出  
す  
に  
右  
の  
如  
き  
に  
書  
き  
出  
す

序  
清  
書

右  
の  
如  
き  
に  
書  
き  
出  
す

右  
の  
如  
き  
に  
書  
き  
出  
す

一  
冊  
に  
書  
き  
出  
す  
に  
右  
の  
如  
き  
に  
書  
き  
出  
す

一  
冊  
に  
書  
き  
出  
す  
に  
右  
の  
如  
き  
に  
書  
き  
出  
す

右  
の  
如  
き  
に  
書  
き  
出  
す

右  
の  
如  
き  
に  
書  
き  
出  
す







一トカチクスリ境と海岸チヨクヘツ川中央境夫より  
川上チヨクヘツ川并ニエムヲマチヨクヘツ川二股より  
一北ニありイナウシ山見通シ夫々山裾通カシイナウシ  
川ニあり河川通リイナウシ川チヨクヘツ川モシヘツ  
境と川筋中央トカチクスリ級境  
但チヨクヘツ川海岸ニ何方ト遊考ニ事先クス  
リシ方ニ境概トカチクシ方ニ山岸を以地方境ニ不  
極ニ川漁チ双方入會ニ積ルルニ事先クス  
右陸奥守修公地所別我境界繪圖面ト通ル事先クス  
修公ノ上

八月

鹿又 漢沼  
齊 豊沼

伊勢書



市法書

一米百粒五石或斗八升或斗

下力午 市糯米

古記米之傷米之愈無名法在古名子口口之場所之田  
拾之以任法有是法之律上申口口法在法有公由名石申  
以在法申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申申

申

八月

市糯米

市糯米

市糯米

Vertical columns of handwritten text on the right page, mostly illegible due to fading and bleed-through.











秀一進状

六月

宗武之弟

宗武之弟  
宗武之弟

宗武之弟

宗武之弟

一三冊

宗武之弟

一三冊

宗武之弟

一三冊

宗武之弟

一三冊

宗武之弟

一三冊

宗武之弟

宗武之弟



